

ひょうごらくのうメモ



2021 JUN



フルカラー版は組合ホームページからご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

生乳生産統計

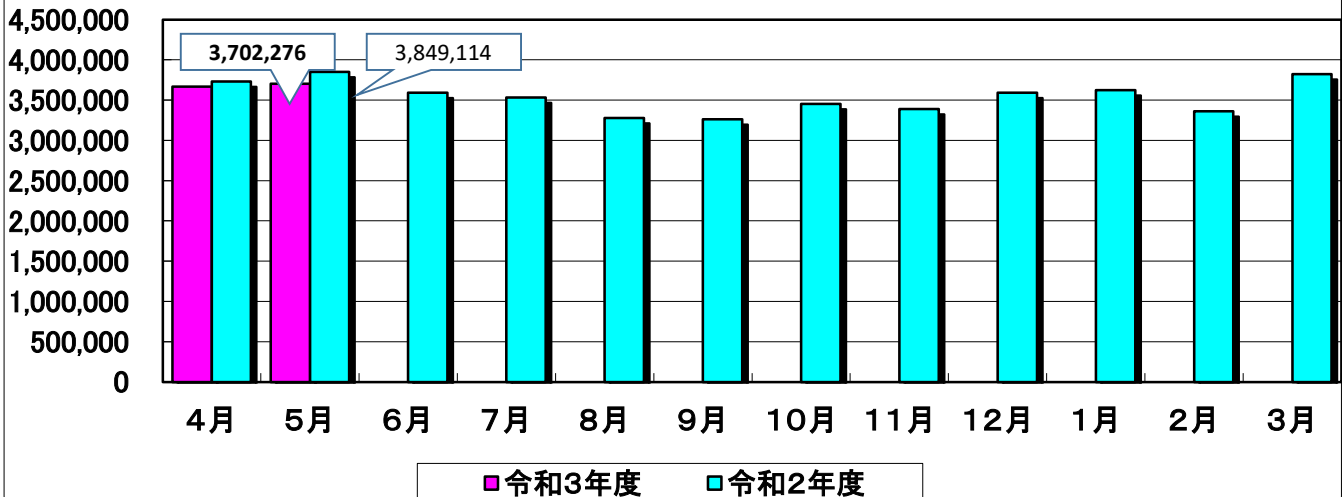
1. 全国(令和3年4月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

	生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和 3年 4月	643.6	101.5
令和 3年 5月		
令和 3年 6月		
令和 3年 7月		
令和 3年 8月		
令和 3年 9月		
令和 3年10月		
令和 3年11月		
令和 3年12月		
令和 4年 1月		
令和 4年 2月		
令和 4年 3月		
令和 3年度累計	643.6	101.5

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 3年 5月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	659,658	98.7	1,301,849	99.7	22
播州地区	643,835	72.1	1,273,653	72.3	24
丹但地区	355,897	101.2	704,366	101.3	16
淡路地区	2,042,886	105.5	4,038,894	105.8	101
合 計	3,702,276	96.2	7,318,762	96.6	163

出荷乳量の月別推移と年度比較(kg)



理事会報告

令和3年5月28日(金)、ZoomによるWEB会議形式にて第2回理事会を理事6名、監事1名の出席の下開催した。各拠点通信状況を確認し、組合長挨拶の後、令和3年度生乳計画生産進捗状況、令和2年度加工原料乳生産者補給金等の支払いについて、を報告し次の事項を協議した。

- ①令和2年度事業報告並びに収支決算について
令和2年度の事業及び決算、剰余金処分案を理事会承認した。
- ②令和3年度事業計画並びに収支予算について
令和3年度の事業計画、予算案を理事会承認した。
- ③第6回通常総会の提出議案について
各7議案を今総会に提出することを決定した。(令和2年度事業報告・決算・剰余金処分案、令和3年度事業計画の設定、組合経費の賦課及び徴収方法、令和3年度役員報酬の決定、定款の変更、退任理事に対する退任給与金支給及び引当金取崩し、附帯決議)
- ④総会運営について
議決の方法他運用、来賓依頼、役割分担、会場レイアウト等協議決定した。
- ⑤地区別懇談会について
6月10日～16日開催する懇談会において緊急事態宣言が延長されたが、予定通り感染防止対策を万全に開催する旨確認した。但し阪神・播州の開催場所の変更を決定した。
(小野市伝統産業会館から全酪連小野SP会議室へ変更)
- ⑥借入金の最高限度額及び余裕金の運用について
原案とおりに承認した。
- ⑦生乳廃棄事故における保険申請の可否について
各廃棄事故の保険申請について協議決定した。

◆ 主な行事予定 ◆

6月

16日 地区別懇談会 阪神 播州地区)

全酪連 小野SP

18日 兵庫県畜産協会令和3年度定期総会

農業会館

21日 第3回理事会 WEB)

22日 内部管理職会議

23日 ひょうご農林機構常任委員会 学校厚生会

配合基金協会第54事業年度定時総会 酪農会館

24日 全国酪農協会令和3年度通常総会 WEB)

岩崎税理士 月次税務監査

25日 日本ホルスタイン登録協会理事会

第71回通常総会 書面開催

29日 第6回通常総会 西神文化センター大ホール

7月

1日 内部職員会議

2日 近畿生乳販連理事会 WEB)

5日 全酪連ブロック別会長 組合長会議 WEB)

6日 令和3年度前期牛群審査 体型調査 (9日)

13日 令和3年度神戸市家畜衛生防疫連絡会 三宮ビル

15日 第49回全国酪農青年女性酪農発表大会 宮城県

淡路家畜市場情報

令和3年5月9日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	11	187,800	257,400	72,600			57
前回	17	198,000		259,600	68,200			56	-10,200	-5.2%	
前年	16	161,356		199,100	72,600			56	26,444	16.4%	
オス	今回	14	273,271	348,700	140,800			56			
	前回	13	249,615	322,300	145,200			54	23,656	9.5%	
	前年	13	257,400	280,500	210,100			56	15,871	6.2%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	1	14,300	14,300	14,300			57
前回											
前年											
オス	今回	8	83,600	100,100	55,000			53			
	前回	3	90,200	108,900	69,300			54	-6,600	-7.3%	
	前年	3	113,300	132,000	95,700			59	-29,700	-26.2%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前回は令和3年4月25日・前年は令和2年5月9日

令和3年5月25日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	5	156,640	265,100	88,000			58
前回	11	187,800		257,400	72,600			57	-31,160	-16.6%	
前年	14	211,514		273,900	92,400			57	-54,874	-25.9%	
オス	今回	17	226,692	324,500	115,500			55			
	前回	14	273,271	348,700	140,800			56	-46,579	-17.0%	
	前年	20	262,900	331,100	23,100			55	-36,208	-13.8%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回	1	14,300		14,300	14,300			57	-14,300	-100.0%	
前年											
オス	今回	2	61,600	64,900	58,300			59			
	前回	8	83,600	100,100	55,000			53	-22,000	-26.3%	
	前年	3	79,933	104,500	33,000			49	-18,333	-22.9%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前回は令和3年5月9日・前年は令和2年5月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
30年次	114,925	931	128,634	1,548	104,980	265	135,573	106,027	
元年次	106,358	965	115,241	1,509	89,826	324	119,245	101,375	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
2	1	72,711	79	88,802	107	78,414	35	99,312	8,429
	2	96,692	71	84,897	123	65,956	25	116,657	7,445
	3	95,530	84	72,800	99	56,203	32	127,152	8,407
	4	106,801	76	89,371	138	83,952	25	112,406	7,965
	5	127,344	56	129,737	70	137,561	18	130,030	6,357
	6	170,661	41	136,631	62	141,300	11	138,565	7,411
	7	146,517	71	133,018	94	157,942	12	115,992	7,780
	8	102,714	77	102,638	91	102,457	21	99,222	8,000
	9	95,278	112	85,488	134	93,384	19	87,265	8,890
	10	73,842	93	73,842	155	62,407	30	86,093	8,390
	11	76,546	75	79,362	122	93,412	25	103,054	7,790
	12	81,180	85	81,802	115	87,323	26	102,168	8,559
3	1	74,951	73	83,781	140	69,300	26	95,228	7,994
	2	90,956	80	77,146	113	78,670	27	114,698	7,292
	3	78,467	102	82,885	120	78,994	16	121,268	8,569
	4	97,866	64	83,789	99	75,586	21	120,717	7,836
	5	110,018	61	134,429	72	93,500	16	128,192	6,630
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
30年次	265,098	3,642	265,355	4,560	306,156	2,420	257,799	150,900	
元年次	299,511	4,603	297,920	4,355	341,703	1,764	277,802	150,447	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
2	1	255,373	517	251,538	374	288,876	218	220,601	14,628
	2	240,332	538	222,488	359	257,248	173	227,973	13,156
	3	195,549	683	182,171	323	217,338	195	213,626	14,189
	4	220,787	488	208,505	391	227,987	169	204,339	13,884
	5	248,271	371	233,626	307	321,956	259	212,946	12,042
	6	290,724	415	276,787	306	296,717	132	225,857	13,406
	7	280,087	317	273,679	388	308,247	129	212,006	12,846
	8	240,193	426	251,646	343	295,730	136	185,153	13,410
	9	225,134	661	204,877	354	252,876	115	159,132	15,955
	10	202,868	559	175,313	466	223,767	172	136,432	16,775
	11	192,909	522	177,306	352	236,161	201	157,694	15,086
	12	203,071	530	172,839	419	244,046	215	162,807	16,856
3	1	176,878	569	167,562	375	209,403	218	153,326	16,059
	2	184,985	529	176,744	380	218,219	184	163,989	14,983
	3	193,366	652	186,041	336	220,852	164	170,965	16,982
	4	219,576	498	201,291	361	244,102	190	186,687	15,503
	5	246,620	460	238,559	320	272,352	167	195,944	13,107
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意下さい。

令和3年5月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（乳・乳系・他）				初妊牛（乳・乳系・他）				経産牛（乳・乳系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
十勝	5/6	478	679	32	428								
北海道	5/8	46	582	286	412	97	1,128	473	742	34	510	147	329
十勝	5/11					539	1,509	128	808	36	1,106	340	592
釧路	5/12					255	1,102	440	702				
根室	5/13					396	1,151	385	673				
北見	5/14					253	1,100	110	695	12	495	198	317
豊富	5/20					263	981	462	689	4	495	267	395
十勝	5/26					461	1,339	293	735	55	890	238	471
豊富	5/28	199	596	11	431								
合計	9回	723	679	11	428	2,264	1,509	110	728	141	1,106	147	452
前年同月成績	9回	739	646	95	455	1,937	1,316	234	750	170	931	173	488
前月合計成績	10回	1,281	771	41	453	2,532	1,383	106	789	308	955	57	383

ホクレン乳牛市場開催日程

6月2日(水)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成	7月1日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成
6月4日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)	7月7日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
6月7日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	7月8日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
6月8日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	7月9日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
6月9日(水)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	7月15日(木)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)
6月10日(木)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	7月21日(水)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
6月24日(木)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)	7月30日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)
6月28日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成			
6月30日(水)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)			

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所(問合せ先)

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-23-4130
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛96番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

★家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和3年6月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	40～50	横這い	札幌管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で97.8%、累計で96.7%、苫小牧管内月計で99.0%、累計で99.0%の実績となっております。 6月の初妊牛動向といたしまして、8月分娩腹が中心となります。5月の同地域の乳牛市場は道内需要と府県需要が重なり、やや強含みに推移しました。しかし、6月より夏分娩腹の上場が多くいるため、相場は弱含みになると予想されます。庭先購買においても同様に、中クラス以上の初妊牛もやや弱含みに推移すると思われます。資源についてはF1腹・雌雄選別腹ともに十分に確保できるものと思われま。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、ご希望がございましたらお問合せください。
	初妊牛	65～75	弱含み	
	経産牛	45～55	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	40～50	横這い	根釧管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で100.7%、累計で100.4%、中標津管内月計で102.3%、累計で102.4%の実績となっております。 6月の初妊牛動向といたしまして、8月分娩腹が中心となります。5月管内の乳牛市場が軟調の相場展開となったため、夏分娩となる6月の庭先購買価格も弱含みとなるものと思われま。腹別ではF1腹・雌雄選別腹での大きな価格差はありませんが、和牛受精卵移植腹のみ堅調に推移しています。初妊牛に合わせて経産牛はやや弱含み、育成牛はもちあいとなるものと思われま。資源についてはF1腹・雌雄選別腹ともに十分に確保できるものと思われま。
	初妊牛	68～75	弱含み	
	経産牛	42～48	やや弱含み	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	40～50	横這い	帯広管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で104.0%、累計で103.8%の実績となっております。 6月の初妊牛動向といたしまして、8月～9月分娩腹が中心となります。5月管内の乳牛市場は、夏分娩腹の牛も多く上場しましたが、道内においての需要もあり、相場は横這いを維持しておりました。6月は本格的な夏分娩腹の上場が始まり、弱含みに推移すると予想されます。しかし、道内においてメガ・ギガファームの導入は続いており、上クラスの牛につきましては、引き続き高値の相場となることも考えられます。また、管内の乳牛市場が6月から8月まで毎月1回の開催となり、市場の出品頭数が多くなることから、秋分娩腹までは相場が軟調に推移すると予想されます。
	初妊牛	68～78	やや弱含み	
	経産牛	45～55	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	38～48	やや弱含み	道北管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で99.0%、累計で99.2%、北見管内では月計で102.2%、累計で102.3%の実績となっております。 6月の初妊牛動向といたしまして、8～9月中旬分娩が中心となります。5月の管内乳牛市場は購買客が比較的少なく、夏分娩腹のため大きく相場が下がる結果となりました。このため6月の庭先購買も弱含みで推移すると予想されます。F1腹・雌雄選別腹の価格差はない状態が続いており、稀に出てくる和牛受精卵移植腹の引合いも強いままです。経産牛の需要は依然強いままで、横這いで推移すると予想されます。
	初妊牛	64～74	弱含み	
	経産牛	42～52	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	40～50	横這い	道内の5月中旬までの生乳生産量前年比は101.9%、累計で101.8%の実績となっております。道内の早い地域では、1番草の刈り取りがスタートする時期となってきました。 6月の初妊牛動向といたしまして、夏分娩腹中心となることから各管内では弱含みの予想となっております。一方で道内需要は底堅くギガファーム等の規模拡大牧場の導入意欲は安定しております。資源については、全ての腹別で頭数確保については問題なく、一部、和牛受精卵移植腹は高値推移していますが、他は価格差が無い状況です。夏分娩ではありますが、1年の中でも相場が下がる時期になりますので、購買計画がございましたらぜひ弊会担当者にご連絡頂き、要望に合った搾乳用素牛を供給していきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。
	初妊牛	65～75	弱含み	
	経産牛	42～52	横這い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

札幌支所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(01654)2-2368

令和3年6月10日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

シアトル港・タコマ港を中心とする PNW からの船積みは一時の大きな混乱から改善傾向にあります。ロサンゼルス港、ロングビーチ港のある PSW では引き続き沖合でのコンテナ本船の滞船が続いていますが、ピーク時に30隻前後あった滞船数は現在では15~19隻前後まで減少しています。両港への輸入量は引き続き例年を上回るなか、米国全土でコロナウィルスのワクチン接種が進み、港湾作業員が荷役に復帰したことで、ターミナルの稼働率が向上し滞船数減少に寄与したとみられています。

一方で PSW 発の本船は、滞船の影響を受け現在もスケジュールが遅延した状況での運航が続いています。一部の船社では本船スケジュールの正常化を図るため、7~9月にオークランド港の抜港を発表しています。

海上運賃については多くの船会社が6月にも GRI（海上運賃一斉値上げ）を発表しています。

ビートパルプ

【米国】

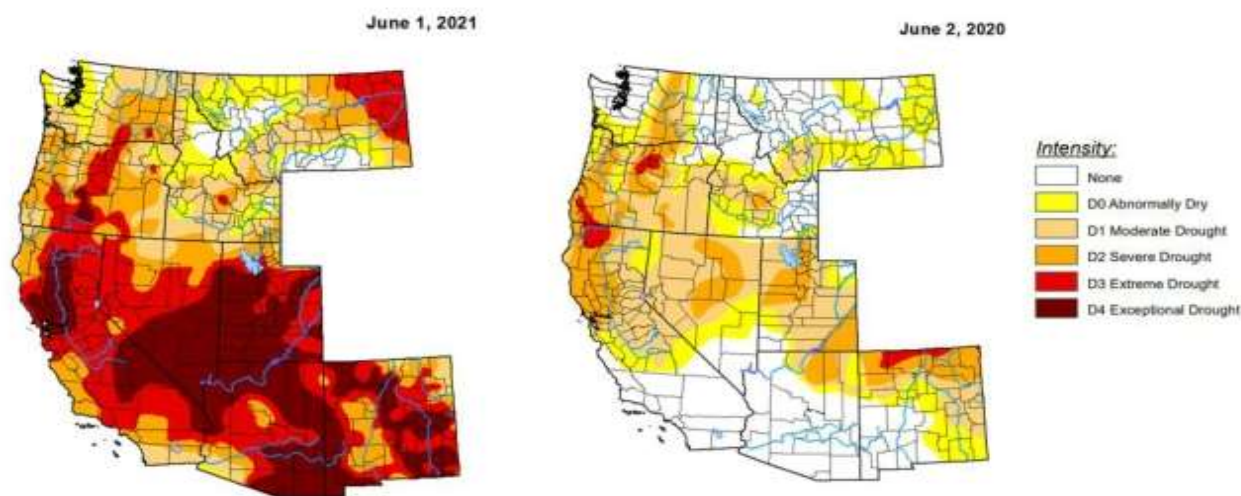
ミシガン地区（ミシガン州）では5月初旬に夜間の気温が急激に低下したため、凍霜害の影響を受けました。これにより作付面積のおよそ12%で再播種が必要となりました。ミンダック地区（ノースダコタ州）では、5月の平均気温が低く、乾燥気味な気候で土壌水分が不足していますが、今のところ問題なく生育しています。サザンミネソタ地区（ミネソタ州中南部）は5月下旬に適度な降雨があったため、良好な土壌水分を保ちながら、生育を続けています。

西海岸における早魃について

西海岸全域では深刻な早魃に直面しています。カルフォルニア州の一部とネバダ州及びユタ州では早魃レベルが「最も深刻な早魃状況」に引き上げられています。

各地における昨冬の降雪不足が今回の早魃の主要因とされており、カルフォルニア州では、これまでに41郡で非常事態宣言が発出されており、農業を含む各分野での節水が呼びかけられています。

この旱魃の影響で、当該地域の酪農家及び肥育農家は自給飼料不足に陥っており、例年以上に周辺地域の生産者から牧草を調達する動きが活発化しています。



(西海岸における20年と21年の旱魃状況の比較 左：21年6月、右：20年6月
出典：National Drought Mitigation Center)

アルファルファ

ワシントン州

主産地であるコロンビアベースン南部では例年より若干早い、5月上旬より1番刈の収穫が開始されました。南部では一部で降雨被害があったものの、概ね順調に進捗し、現在では収穫作業を終えています。成分の高い高級品も発生しましたが、多くが内需向けに成約されています。

コロンビアベースン中部と北部では1番刈の収穫作業が終盤を迎えています。5月下旬に広範囲で降雨があり、およそ40%程度で雨当たり被害が出ていますが、その後は大きな天候の崩れはなく収穫作業が進行しています。長雨の影響で多くの雨当たり品が発生した20年産と比べると、21年産の品質は期待ができます。

一方で産地相場は昨年同期比で上昇しています。穀物相場の高騰を受け、アルファルファの給与量を増加させている米国内からの需要は強く、昨年よりも高値で取引されています。

カリフォルニア州

カリフォルニア州北部では、1番刈の収穫が終了し2番刈の収穫が開始されています。旱魃の影響を受けた地域では農業用水の使用が制限されており、生産者によってはアルファルファの生産縮小を余儀なくされている状況です。

南部インペリアルバレーでは3番刈が終盤を迎えており、圃場によっては4番刈の収穫が開始されています。産地では連日、最高気温が40℃を超えており、成分が低下しています。この成分の低下に伴い中国からの需要は減少していますが、サウジアラビアは引き続き旺盛に買付を行っているため産地相場は堅調です。

ユタ州

ユタ州は厳しい旱魃で水不足となっています。生産者によっては公共水道だけでなく自前の地下水(井戸)設備を用い灌漑が行えるため、問題なく栽培ができますが、地下水設備を持ち合わせていない生産者は減産する見込みです。

1番刈の収穫は6月上旬から始まっています。アルファルファの需要は自給飼料が不足している内需及び輸出向けに旺盛な状況です。



(ユタ産1番刈アルファルファの写真 6月上旬撮影)

ネバダ州

ネバダ州西部イエリントン地区では5月下旬から1番刈の収穫作業が開始されています。同州では各地で旱魃の影響を受けており、例年の約20-30%程度の水しか農業用水として活用することができず、大きな減産の可能性があります。また冬季用の肥育生産者向け自給飼料が不足することが考えられており、下級品の相場上昇も懸念されています。

オレゴン州

カリフォルニア州との州境にあるオレゴン州南部クラマスフォールズでも、深刻な旱魃に悩まされています。生産者は現地当局から河川からの農業用水向けの引水を制限されています。このため産地での生産量の減少が懸念されています。1番刈は6月上旬から収穫作業が開始される見込みです。

米国産チモシー

主産地であるコロンビアベースンでは南部で6月上旬より1番刈の収穫が開始されています。天候もよく順調に生育しており、比較的よい状況で収穫作業が進められています。今後コロンビアベースン中部および北部でも収穫が本格化し、もう一つの主産地であるエレンズバーグでは6月中旬から下旬にかけて収穫作業が開始される見込みです。

21年産1番刈の作付面積は、20年産と近い数字になることが予想されていますが、アルファルファと同様に直近の穀物相場の高騰により、1番刈収穫後に他の換金性の高い穀物への転作が予想されており、2番刈の作付面積減少が予想されています。



(ベーリングされたチモシー 6月上旬コロンビアベースンにて撮影)

スーダングラス

主産地であるインペリアルバレーでは、5月下旬より収穫作業が開始されています。21年産は生育期の天候の影響を受け例年よりも若干遅いスタートとなっています。これまで収穫されたものは、茎の細い高級品を中心に発生しています。産地では今後収穫が本格化する見込みです。

産地灌漑局から発表された6月1日時点のスーダンの作付面積は、昨年同期比10%程度減少の37,230エーカーとなっています。今後ビートや小麦の収穫を終えた圃場へのスーダンの作付けが予想されており、21年産の作付面積のピークは昨年と同様の40,000~42,000エーカーとなる見込みですが、過去5年平均の作付面積である43,845エーカーと比べると低い水準となります。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

4月下旬から1番刈の収穫が開始されています。20年産の1番刈は生育期の長雨の影響で雑草の混入が多くみられましたが、21年産は生育期と収穫期の天候に恵まれたため、上級品が多く発生しています。一部では2番刈の収穫が開始されています。産地相場は安定していますが、生産者によっては3番刈で栽培を止め、他の換金性の高い作物への転作を示唆しています。

バミューダ

産地では2番刈の収穫が行われており、上級品が多く発生しています。産地灌漑局から発表された5月15日時点の作付面積は前年同期比2,462エーカー少ない、62,117エーカーとなっています。21年産の産地相場は作付面積の減少や20年産からの繰り越し在庫が少なかったことから、高値で取引が開始されています。

カナダ産チモシー

アルバータ州南部レスブリッジでは、5月下旬に降雨がありました。産地では早魃の心配がされていましたが、この降雨で土壤水分が回復しており、生育状況も持ち直しています。1番刈の収穫は7月上旬頃からの開始が予想されています。

アルバータ州中部クレモナでも5月下旬に降雨がありました。こちらも今のところ順調に生育しています。

豪州産オーツヘイ

21年産の作付作業は豪州全体で8割以上完了しています。3月から中国向けの出荷が鈍化しているため、産地の生産者は相場低迷を懸念し、21年産はオーツヘイの作付けを減らし菜種をはじめとする他の換金性の高い作物の作付けを増加させる動きが各地で見られました。このため、21年産の作付面積は前年比で30%~50%程度減少すると予想されています。

この状況下、各地域の生育状況について西豪州は、非常に良好な土壤水分のなか作付作業が完了しており、順調に生育しており、圃場では発芽が見られています。

南豪州・東豪州は多くの生産者で早魃気味な土壤水分のなか、播種が進められました。両産地では播種完了後の5月上旬と下旬にまとまった降雨があったため、土壤水分は回復しており、西豪州同様に発芽が見られています。